

## 令和元年度 再エネ海域利用法を踏まえた洋上風力発電事業セミナー

平成31年4月1日に「海洋再生可能エネルギー発電設備の整備に係る海域の利用の促進に関する法律」（再エネ海域利用法）が施行され、今後、同法に基づく促進区域の指定及び公募による事業者の選定が実施される予定です。

また、再エネ海域利用法に基づく基本方針において、環境への配慮が適切になされていることを前提としつつ、環境影響評価審査の簡素化による期間の短縮化を図るとされています。

これらのことから、環境影響評価が適切かつ円滑に行われるよう、地方公共団体や環境影響評価の実務担当者の皆様に対して、再エネ海域利用法の執行状況、再エネ海域利用法に基づく手続と環境影響評価法に基づく環境影響評価手続との関係を説明するとともに、海洋の多様な利用等との調和、そのための合意形成等に関する情報を提供するセミナーを開催します。

●主 催：環境省関東地方環境事務所

●日 時：令和2年2月21日(金) 13:00～16:00 (12:30 開場)

●場 所：TKP東京駅セントラルカンファレンスセンター  
(東京都中央区八重洲 1-8-16 新槇町ビル 10F 10B)

●本日のプログラム

時間	タイトル	講演者
13:00～	主催者挨拶	鈴木 一成 (環境省関東地方環境事務所 環境対策課長)
13:10～13:20 (10分)	再エネ海域利用法に基づく制度と環境影響評価 手続について	坂本 万純 (環境省大臣官房環境影響評価課 係長)
13:20～14:05 (45分)	風力発電事業における早期段階での合意形成の 在り方について	丸山 康司 (名古屋大学大学院 教授)
14:05～14:15 (10分)	質疑応答	
14:15～14:25 (10分)	休憩 ※講演の進捗により適宜調整します。	
14:25～14:55 (30分)	浜松市における洋上風力の取組み ～風力発電ゾーニング～	江馬 正信 (浜松市産業部エネルギー政策課 副参事・課長補佐)
14:55～15:40 (45分)	洋上風力発電と海域の多様な利用等との調和に ついて-漁業協調と地域振興について考える-	中原 裕幸 (一般社団法人 海洋産業研究会 常務理事)
15:40～15:50 (10分)	質疑応答	
～16:00	閉会 ※今後のセミナー運営の参考にさせていただくため、アンケートへのご協力をお願い致します。	